



**FUKUOKA ONE HEALTH**  
Human Health, Animal Health, Environmental Health



## 田川市ワンヘルス推進宣言

動物から人へ、人から動物へ伝播可能な感染症のことを人獣共通感染症といいます。森林開発や農地化等の土地利用の変化、生態系の劣化、気候変動などにより、人と野生動物の関係性が変化し、生存領域が近接したことで、元々野生動物が持っていた病原体が人にも感染するようになったとされています。

人獣共通感染症を予防するためには、人と動物の健康及び環境の健全性は、密接に関連し合うものと捉え、一体的なものとして対応していかなければなりません。それゆえ、「人の健康」、「動物の健康」、「環境の健全性」を一つの健康と捉え、一体的に守っていくというワンヘルスの理念が世界中で広がりを見せています。

福岡県では、全国に先駆けて「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、その中で、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの課題に対する基本方針や行動計画を策定し、ワンヘルスが推進されています。

本市においても、人と動物の健康及び環境の健全性を守り、次世代に継承していくため、下記の事項に取り組み、ワンヘルスの推進をここに宣言します。

### 記

- 1 ワンヘルス実践（人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの課題への取組）の基本方針を具体化する県行動計画に連携協力するとともに、ワンヘルス実践施策を積極的に推進する。
- 2 市民へのワンヘルス周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し必要な支援を行う。

令和7年6月1日

田川市長 村上卓哉

